

## 生活・自立支援キャンプ「ふれあい花山キャンプ」

### 1. 趣旨

国立青少年教育振興機構の各施設において経済的に困窮した家庭の子供を対象に自然体験等の活動を通じた「生活・自立」を支援する取組を行い、子供達の基本的な生活習慣の確立や自立する力を身に付けることを目指す。

### 2. 事業の概要

参加人数及び期日は以下のとおりである。

	開催日時	参加者数	実施施設
第1回	平成29年11月25日(土)～26日(日)	8家族25名	母子福祉連合会
第2回	平成30年 1月27日(土)～28日(日)	12家族35名	母子福祉連合会
第3回	平成30年 2月 2日(金)～ 4日(日)	児童18名・引率4名	児童養護施設

### 4. 企画・運営のポイント

- ①「宿泊体験」を通して「早寝・早起き・朝ごはん」を意識させ、基本的な生活習慣の育成を図る。
- ②子供たちに自然体験やスポーツを身近に感じさせ、体力づくりの一助とする。
- ③日常にいかせる料理体験を実施する。
- ④集団生活と人との交流をとおして、人と関わる力を培い、自立心を養う。

### 5. 日程 《1泊2日》

日 目	午前			午後			夜 間			
	起 床	朝 食	親子で野外炊事 餅つき体験	昼 食	ハイキング 親子で雪遊び	遊びリンピック	夕 食	親子別プロ	入 浴	就 寝
1 日 目				昼 食	ハイキング 親子で雪遊び	遊びリンピック	夕 食	親子別プロ	入 浴	就 寝
2 日 目				起 床	朝 食	親子で野外炊事 餅つき体験	解 散			

### 《2泊3日》

日 目	午前			午後			夜 間			
	起 床	朝 食	冬の体験活動① スキー体験	昼 食	冬の体験活動② スキー体験	買い出し に行こう	夕 食	グループで役割 を考えよう	入 浴	就 寝
1 日 目				受 付	夕 食	グループで献立 を立てよう	入 浴	就 寝		
2 日 目				起 床	朝 食	冬の体験活動① スキー体験	昼 食	冬の体験活動② スキー体験	買い出し に行こう	夕 食
3 日 目	起 床	朝 食	料理体験 グループで考えた料理を作ろう	解 散						

※連携団体のニーズに合わせた活動プログラムとする。

## 6. 主な活動



【ハイキング】



【親子で野外炊事】



【雪遊び（かまくら作り）】



【感謝の手紙】



【スキー体験】



【買い物体験】

## 7. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

- ・第1回 満足： 78% やや満足： 22% やや不満： 0% 不満： 0%
- ・第2回 満足： 100% やや満足： 0% やや不満： 0% 不満： 0%
- ・第3回 満足： 95% やや満足： 5% やや不満： 0% 不満： 0%

### (2) 参加者の声

- ・子供と二人で雪遊びするのは難しいことなので、今回の雪遊びで子供たちも、親も一緒に楽しめてとても良かったです。
- ・親子別のプログラムは、とても良かったと思います。母親同士で普段話が出来ないことも話せました。
- ・お雑煮づくりでは子供たちが料理体験ができて良かった。
- ・割り箸ダーツは初めての競技でとてもおもしろかった。
- ・最初からの餅つきは初めてだったのでおもしろかったです。
- ・日常では考えられない、とても良い思い出作りが出来ました。旅行なんて連れていけないので子供達も大変喜んでいて嬉しかったです。
- ・すごく子供が楽しんでいてとても良かったです。運営、計画してくださりありがとうございました。
- ・2泊3日の活動を通して、園で体験することのできない貴重な体験ができました。ありがとうございました。子どもたちと一緒に楽しめました。
- ・普段の関わりを振り返る機会になりました。

### (3) 成果

- ①母親談義では他の家庭の話も色々聞いてお互いの情報交換ができた。
- ②買い物体験では、同じ物でも安いものを買うというように、経済的な面を考える意識が身についた。
- ③スキー体験は園の子供達は初めてであり、新たなことへのチャレンジの機会を提供できた。

### (4) 課題

- ・母親同士の交流が少なく、夜に急に話し合いは厳しい参加者もいた。
- ・第1回は10月初めか9月下旬（もう少し暖かい時期）だとなお良かったと意見もあり開催時期の検討が必要である。

担当：企画指導専門職 山田 健一